

「とちぎの元気な森」を次の世代に引き継ぐために

とちぎの元気な森づくりNEWS

平成22年春号 VOL. 15



写真：里山林の整備により明るく見通しが良くなった通学路
(那珂川町薬利地区)
—明るく安全な里山林整備事業—



特集 森づくりの現場を訪ねて
～「とちぎの元気な森づくり」県民バスツアーを実施しました～

森のなかまたち 第4回 森の中に住む鳥 カケス



ごま塩頭と翼の青いワンポイントがとてもお洒落な鳥である『カケス』は、ハトほどの大きさで、主に低山に住んでいます。カラスの仲間らしく、普段の鳴き声はジェイ、ジェイと濁っていますが、野鳥界を代表する「鳴きまね」上手で、トビのピーヒョロロという高く澄んだ声が得意なひょうきん者です。

昔は、木こりのノコギリの音を真似ることも多かったそうですが、時代の流れとともに、最近ではチェーンソーのエンジン音を習得した現代っ子も現れ始めました。(でも、あまり似せようとする息が続かないでしょうね。)

森づくりの現場を訪ねて

「とちぎの元気な森づくり」県民バスツアーを実施しました

県や市町は、「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して、県民の皆様のご協力のもと、さまざまな森づくりや人づくりに取り組んでいます。

これらの取り組みを、より広く多くの皆様にご覧いただくため、県などが平成21年度に実施した県民バスツアーを御紹介します。



県北地区



里山林整備箇所(大田原市堀之内)

平成21年10月26日(月)に、3事務所(県北環境森林事務所、矢板森林管理事務所、県民の森管理事務所)の共催により、「元気な森づくりバスツアー in 那須」を実施しました。森づくりに興味・関心のある方を広く募集したところ、県北地区を中心に40名から申し込みがありました。当日は朝から風雨が強い中でしたが、次の2箇所を訪れました。

- 大田原市堀之内地区(明るく安全な里山林整備事業《将来まで守り育てる里山林整備》)
- 那須町豊原乙地区「森林ノ牧場 那須」(参加者による植樹)

午前中は、大田原市堀之内地区において、里山林整備事業で整備された広葉樹と針葉樹の美しい森林を視察しました。現地では、職員の説明を聞きながら、森林浴コースとして活用されているチップ敷きの歩道を歩いていただきました。

午後は、那須町豊原乙地区の「森林ノ牧場 那須」を訪れ、牛が放牧されている森林で植樹を行いました。風雨はさらに強まりましたが、参加者の方々が一生涯懸命取り組んでくださったおかげで約100本のコナラの苗木を無事植え付けることができました。

帰りの車中でアンケートを行ったところ、「とちぎの元気な森づくりへの理解が深まった」、「またツアーを実施してほしい」などの御意見を多数いただきました。

県西地区



奥山林整備箇所(鹿沼市入粟野地区)

県西環境森林事務所は、管内市町の自治会の代表者20名の皆さんに御参加いただき、平成21年11月4日(水)に次の4箇所を視察するバスツアーを実施しました。

- 鹿沼市入粟野地区(とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業)
- 同上 (明るく安全な里山林整備事業《野生獣害軽減》)
- 鹿沼市入粟野地区(栃木県21世紀林業創造の森:林業研修施設)
- 西方町真名子地区(明るく安全な里山林整備事業《野生獣害軽減》)



里山林整備箇所(西方町真名子地区)

参加された皆さんからは、「獣害について、こんなに被害が深刻だとは知らなかった」、「立派な林業研修施設があることは知らなかった」、「とちぎの元気な森づくり県民税事業への理解が深まった」という感想や、「もっと広葉樹を植栽し多様な森づくりを」、「野生動物による森林被害への対策の充実を」との意見が出されました。

県南地区



奥山林整備箇所(佐野市作原地区)

県南環境森林事務所と佐野市は、とちぎの元気な森づくり県民税を活用して整備した森林の見学を通して事業への御理解を深めていただくため、平成21年12月15日(火)に佐野市内の町会長さん20名の御参加をいただき、次の2箇所を見学していただきました。

- 佐野市作原地区(とちぎの元気な森づくり奥山林整備事業)
- 佐野市三好地区(明るく安全な里山林整備事業《野生獣害軽減》)

作原地区では、15年以上手入れが滞っていた森林が間伐により陽の射し込む明るい森に生まれ変わった様子を見学していただきました。また、三好地区では、田畑周辺の里山林の藪の刈払いを実施した様子を見学していただきました。

参加された皆さんからは、「間伐材の有効活用のためには作業路作りが必要。」「イノシシ対策の藪の刈払いを自分の地域でも取組んでいきたい。」などの意見が寄せられました。

県央・県東地区



自然ふれあい園“大久保”(真岡市長田地区)



茂木町美土里館

県央・県東地区の県民の皆さん31名の参加をいただき、平成22年3月5日(金)に、県東地区“エコ・もり”地域推進協議会(※)の主催により、次の3箇所を視察するバスツアーが実施されました。また、森づくりに関する講演やディスカッションも併せて行われました。

- 視察
- 真岡市長田地区(明るく安全な里山林整備事業《将来まで守り育てる里山林整備》)
 - 茂木町烏生田・鎌倉山周辺地区(同上)
 - 茂木町美土里館(リサイクルによる堆肥製造施設)
- 講演等 「身近な里山をみんなで守り続けていくために」
(講師: 作新学院大学女子短期大学部 青木章彦教授)

参加された皆さんからは、「実際に現地を見て、現状を知ること興味が出てきた」、「多くの人々が森づくりに参加できるような取組みが必要」、「このような体験ツアーを今後も継続してほしい」という感想や意見が出されました。

(※) 県央・県東地区の県や市町の行政機関・活動団体・ボランティア・事業者等が構成員となっている環境保全活動や森づくり活動を推進するための協議会

バスツアーは平成22年度も実施する予定です。
開催予定などは県などのホームページなどでお知らせします。
より多くの皆様の御参加をお待ちしています!



県産材のあずまやで地球温暖化防止をアピール

～西方町「道の駅 にしかた」オープン～

今回の現地レポートは、昨年11月22日、町役場西側の国道293号線沿いにオープンした「道の駅 にしかた」からお届けします。

「道の駅にしかた」は都市と農村との交流や地域活性化のために、県内17番目の道の駅として整備されたもので、町特産のイチゴ等を販売する農産物直売所「ふれあいの郷」、物産館「さくら」、農村レストラン「ふるさと一番」などが立ち並んでいます。

その一角に「とちぎの元気な森づくり県民税」を活用して整備された「あずまや」が建っています。普段は休憩所として使われますが、イベント時には直売所を補完するスペースとして使えるよう広場に面して長く間口が開いており、駐車場からトイレや「さくら」等に向かうお客様を雨から守る役目も果たしています。

このあずまやは、県産材を100%使用しており、柱には「木を使うことがCO₂を吸収する森林を育て地球温暖化防止に貢献する」旨が表示されています。冬の男体おろしの影響を和らげるよう両側に反り上がった屋根が特徴で、冬は日差しが良く差し込み、夏は強い日差しを遮って、道の駅の貴重な休憩所として活躍してくれることと思います。

みなさま、ぜひお立ち寄りください。



マスコットキャラクター
キラちゃん

利用者の声

今日は、家族で「道の駅にしかた」を訪れました。レストランで食事をした後に、おすすめの「とちおとめジェラート」を食べながら施設の中を散歩していると、変わった屋根の形をした施設が目に入りました。スタッフに聞いたところ、「木のもつ柔らかさを活かした癒しの場所として、訪れたお客様にゆっくり休んでいただく場所」とのことでした。

早速、木のベンチに座って眺めてみましたが、木をふんだんに使ったすばらしい施設を実感することができました。



取材：栃木県西環境森林事務所



森づくりトピックス

森林環境学習指導者研修会を開催しました！



県は、森林と人との関わりについて理解を深めていただくための森林環境学習指導者研修会を、平成22年2月2日（火）に栃木県総合教育センターで開催しました。研修には、教育関係者やボランティア活動を行っている皆さんなど32名が参加しました。

初めに、栃木県林業振興協会副会長 大嶋久美子さんから「豊かな森を未来に引き継ぐために」というテーマで御講演をいただきました。講演では、林業を取り巻く現状や森林教育への期待、県内森づくり団体の活動事例などが説明されました。

講演の後は、「木」を利用した工作活動の実習が行われました。参加者それぞれが丸太の輪切りコースター、鉛筆立て、木の枝の鉛筆づくりに熱心に取り組みました。



平成21年度栃木県みどりと環境のコンクール表彰式を開催！



平成22年2月9日（火）、栃木県公館で、「平成21年度栃木県みどりと環境のコンクール表彰式」が開催され、みどりづくり関係からは、次の3つの表彰が行われました。

- ・緑化運動テーマコンクール（受賞者21名）
- ・国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール（受賞者38名）
- ・学校関係緑化コンクール（受賞11校1団体）



表彰されたポスターなどの作品は、県庁本館15階展望ロビーに展示され、多くの来庁者にご覧いただきました。

○お知らせ 平成22年春号の「とちぎの元気な森づくり県民会議部会だより」は都合によりお休みさせていただきます。



元気な森づくり伝言板



★平成22年度栃木県春季緑化行事のお知らせ★

～はじめよう 緑を増やす その一歩～

みどり豊かな環境を守り育て、次の世代に引き継いでいくため、平成22年度栃木県春季緑化運動を実施します。県や市町、各団体が緑化行事を開催します。ぜひご参加ください。

- 緑化運動期間 平成22年4月1日～5月31日
- 春季苗木配付会（県・宇都宮市）
平成22年4月16日（金）10時30分～
栃木県庁県民広場
（各市町）栃木市、高根沢町、鹿沼市、茂木町、足利市、
大田原市、佐野市、壬生町
詳しくは、県ホームページをご覧ください。
(<http://www.pref.tochigi.lg.jp/eco/shinrin/ryokka/>)
- 栃木県植樹祭 平成22年5月15日（土）塩谷町総合公園



平成21年度春季苗木配付会

★森林環境学習にご活用ください！★

県や「とちぎの元気な森づくり県民会議」では、森林環境学習に役立てていただくため、普及・啓発のための資料を作成しています。ぜひご活用ください。

とちぎ発エコ体験モデルコース「体験しよう！とちぎのエコもい」

県は、環境森林学習に役立つ県内各地の施設やフィールドを、エリアごと、分野ごとに「エコ体験モデルコース」としてまとめました。全28施設の情報が掲載されています。各団体や学校等での研修などにご活用ください。

- A4カラー、20頁
- 全12コース掲載（県西、県東、県央、県北、県南）
- 分野 自然を学ぶ、新エネルギーを学ぶ、3Rを学ぶ、伝統文化を学ぶ
- お問い合わせ先 県環境森林部地球温暖化対策課 Tel.028-623-3297



「森を育てるみんなの木づかい」

とちぎの元気な森づくり県民会議木づかい推進部会では、県民の皆様の「木づかい運動」を推進するため、リーフレット「森を育てる みんなの木づかい」を作成中です。

木材は、わたしたちにやさしい優れた性質を持つ自然の素材であること、環境にやさしい素材であること、そして「とちぎの木を使うことがとちぎの森林を守っていくことになること」などを理解していただきたいと思っています。わたしたちの生活に、とちぎの木をたくさん使っていただけることを願っています。イベントなどでも配布しますが、別途必要な方は事務局までお問い合わせください。

- 事務局 木づかい推進部会 Tel.028-623-3277（県環境森林部林業振興課）



編集・発行 とちぎの元気な森づくり県民会議 平成22年3月発行

（事務局 宇都宮市埴田 1-1-20 栃木県環境森林部内 Tel. 028-623-3297）

「とちぎの元気な森づくりNEWS」は、「とちぎの元気な森づくり県民税」により発行されています。